

遠藤寒天培地

For microbiological control only

Endo agar (END)

大腸菌群の分離

43231	平板培地	20 枚(90mm)
51032	粉末培地	500g

貯蔵法

平板培地 2-8 暗所保存

粉末培地 2-30

組成(g/l)

ゼラチンペプトン(牛または豚).....	10
緩衝液.....	3.5
乳糖(牛).....	10
亜硫酸ナトリウム.....	2.5
塩基性フクシン.....	0.5
寒天.....	15
pH7.4	

原理

遠藤寒天培地は大腸菌群と他の腸内細菌の検出に使用する選択分離培地です。

本培地は *E. coli* および大腸菌群の検出に関する標準法である DIN38411、および A. P. H. A. に準拠しています。

乳糖を発酵する腸内細菌は培地を酸化するためピンクから赤色のコロニーを形成します。さらに、*Escherichia coli* は金属光沢を伴うことがあります。

2 つの色素がグラム陽性菌の発育を阻害します。

粉末培地の調製法

1. 本培地 41.5g に精製水 1L を加えます。
2. 5 分ほど置いた後よく攪拌します。
3. 均一に混ざったら攪拌しながら加熱し、約 2 分沸騰させます。
4. 120 で 15 分間、オートクレーブで滅菌します。
5. 45 50 に冷まし、再度よく混ぜた後シャーレに分注します。

使用法

臨床用に用いる場合：

1. シャーレを室温にさらします。
2. 検体を培地上に直接接種します。
3. フタを下にして 37 で培養します。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。通常は 24-48 時間培養後に結果を読み取ります。

食品用に用いる場合：

1. シャーレを室温にさらします。
2. 標準法に準じて検体を接種します。
3. フタを下にして 37 で培養します。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。24-48 時間培養後に結果を読み取ります。

判定

- 培養後、菌の発育とコロニーの形態を観察します：乳糖陽性の腸内細菌はピンクから濃い赤色のコロニー(金属光沢を有する場合もあります)を形成します。通常、*E. coli* では金属光沢がみられます。
- 分離した微生物の同定には生化学的あるいは免疫学的手法を用いて下さい。

使用上の注意

- 無菌操作および細菌を取扱う上で必要な注意事項に留意して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 安全ガイドライン： NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from instrument Biohazards and Infectious Disease Transmitted by Blood, Body Fluids, and Tissue, Approved Guideline – December 1997» 操作留意事項： Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, HHS Publication No. (CDC) 93-8395, 3rd Edition (May 1993)、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 包装が破損している製品は使用しないで下さい。
- 汚染されている、または液が浸出している培地製品は使用しないで下さい。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の考察の際には患者の履歴、検体の由来、コロニーの形態および検鏡結果、また必要に応じて行った他の試験結果などを充分考慮して下さい。

留意事項

- *Staphylococcus* および *Streptococcus* のある菌株は本培地での発育が弱い場合があります。
- 本培地の色は淡いピンクから濃いピンクの間で変化する場合があります。これは培地の性能に影響を与えるものではありません。
- 発育の度合は微生物各個体の要求性により異なります。よって、特殊な要求性を有する菌株は発育しないこともありえます。
- 食品、製造工程及び微生物種は多種多様であるため、本培地が貴社製品に適しているか評価してからご使用下さい。

参考文献

1. BLOOD R. M., CURTIS G. D. W. – Media for “total” Enterobacteriaceae, coliforms and *Escherichia coli* – Int. J. Food Microbiol., 1995, **26**, 93-115.
2. ENDO S. – Zentralbl. Bakt. 1 Orig. 35, 1904, 109-110.
3. SHIREY J. J., BISSONNETTE G. K. – Sheen formation and growth response of groundwater bacteria to reduced oxygen concentrations during incubation of M-endo medium – Can. J. Microbiol., 1992, **38**, 261-266.
4. American Public Health Association, Inc – Standard Methods for the examination of Dairy Products(13th), 1972, 59-60.
5. Norme DIN 38411-6, Publication date : 1911-06 – German standard methods for the examination of water, waste water and sludge ; Microbiological methods (Group K), Determination of *Escherichia coli* and coliform organisms (K6).

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CS センター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号
大崎セントラルタワー8階

bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile / France

Tel. (33) 0 4 78 87 20 00 / Fax (33) 0 4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.